

北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業に係る整備の進捗状況及びエリアマネジメントの活用方針について

1 整備概要

- (1) 隅田公園  
 主な施設：芝生広場 約 3,000 m<sup>2</sup>、舗装広場 約 1,100 m<sup>2</sup>、花見丘 約 2,700 m<sup>2</sup>、  
 公園利活用機能付トイレ（男(小5大3)、女(5)、だれでもトイレ(1)）
- (2) コミュニティ道路  
 ア 墨堤通り～三ツ目通り  
 道路幅員：車道 6.0m  
 交通規制：西から東への一方通行（現行同様） 時間による車両通行規制（調整中）  
 イ 三ツ目通り～小梅橋  
 道路幅員：車道 5.5m、片側歩道（南側）2.5m、計 8.0m  
 交通規制：東から西への一方通行（現行同様）
- (3) 親水テラス  
 主な施設：階段・スロープ（テラス～橋詰） 転落防止柵、照明灯、樹木、ベンチ
- (4) (仮称)小梅橋船着場（防災船着場）  
 形式：浮棧橋・連絡橋  
 規模：浮棧橋 3.5m×12.0m、連絡橋 18.6m
- (5) 小梅橋  
 規模：幅員 11.0m、橋長 19.8m  
 構成：車道 7.0m、両側歩道 2.0m

2 全体スケジュール（予定）

区分	H29					H30 (2018)					H31 (2019)					H32 (2020)					H33-
	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1				
耐震護岸整備(都)	枕橋～源森橋(北側・南側)、源森橋～小梅橋(南側)																				
護岸修景整備(都・区)						枕橋～小梅橋(北側)										枕橋～小梅橋(南側)及び樋門部					
樋門耐震整備(都)	耐震補強等																				
船着場整備(区)											小梅橋下流										
隅田公園再整備(区)						造成、芝生広場等					舗装広場、トイレ等										
コミュニティ道路整備(区)						西区間(基盤まで)					西区間(仕上げ)、東区間										
小梅橋架替整備(区)	解体工事、下部上部、橋面、取付道路																				
高架下施設整備(東武)											建築・テナント工事										
北十間川水辺活用協議会	★都市・地域再生等利用区域の合意(発足)															水辺利活用及び周辺の賑わい創出に向けた検討・活動等					

3 浅草・とうきょうスカイツリー駅間高架下開発計画について(2)

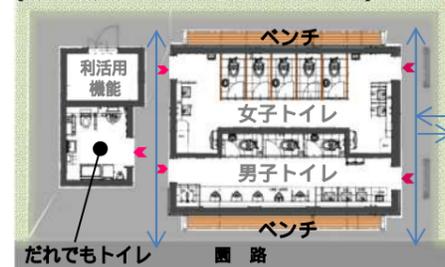
別紙のとおり

【平成31年3月末時点の整備状況】

【平成32年3月末 完成時】



【公園利活用機能付トイレ】  
(RC造、外装：熱処理木材仕上げ)



【小梅橋】



【コミュニティ道路(三ツ目通り～小梅橋)】



都市・地域再生等利用区域・・・都市及び地域の再生等のために利用する施設（イベント施設、遊歩道、これらと一体をなす飲食店など）が占用できる河川の敷地の区域  
 北十間川水辺活用協議会において、地域の合意を経て、平成31年3月に区域指定（HPで公表）

# 浅草・とうきょうスカイツリー駅間高架下開発計画について (2)

## 1 計画概要

- (1) 所在 東京都墨田区向島一丁目  
※東武スカイツリーライン とうきょうスカイツリー駅 徒歩1分、浅草駅 徒歩5分  
都営浅草線 本所吾妻橋駅 徒歩3分
- (2) 敷地面積 約5,484㎡ (一部、河川用地を含む。)
- (3) 延床面積 約3,493㎡
- (4) 建物規模 平屋建て (ホテル部分2階建て)
- (5) 用途 店舗 (物販・飲食・サービス)、ホテル 他
- (6) 区画数 12区画
- (7) 開業時期 2020年 春 (一部)
- (8) 事業主体 東武鉄道株式会社

## 2 事業スケジュール

- 2019年 4月 着工  
2020年 3月 竣工  
2020年 春 開業 (一部)

## 3 施設計画 (店舗等 区画配置)

【参考】 開発コンセプト・顧客ターゲット

CONCEPT  
コンセプト

# Live to Trip

人・地域・文化が行き交い、旅するように過ごし、暮らすように旅する。  
街を行き来することで、地域に根付いた“下町の魅力”に出会えるディスティネーション型水辺空間開発。

TARGET  
ターゲット



近隣オフィスワーカー・近隣住民



外国人街歩き観光客



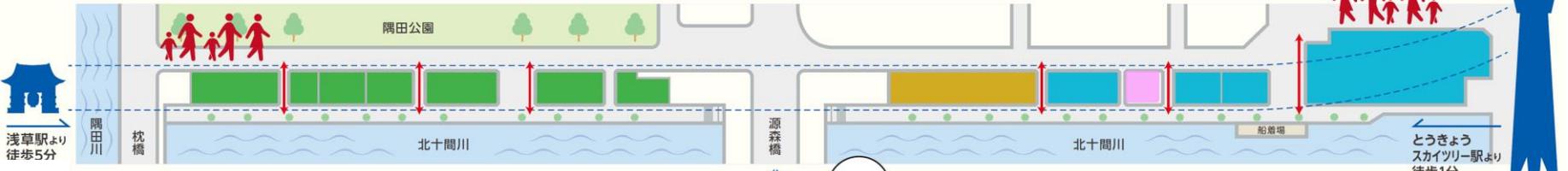
日本人アーバンツーリズム客



水辺も公園も  
気持ちいい！



貫通路  
水辺と公園・路地をつなぎ、  
東西だけでなく、南北の人の流れを生み出す



浅草まで  
歩こう！

### ParkSide Zone

公園と水辺に面した回遊性の高いロケーション。  
飲食を中心とした店舗で構成。  
店舗数：7区画  
区画規模：約20～70坪



↑  
本所吾妻橋駅より  
徒歩3分



### Hotel Zone

高架下の屋外スペースやカフェラウンジで、  
ワークショップなど様々なイベントを開催し、  
賑わいを創造するホテル。  
区画規模：約300坪

### RiverSide Zone

東京スカイツリータウンからの導入口。ホテルと船着場に  
隣接した立地で、サービス・飲食等の店舗で構成。  
当計画唯一の約300坪級の大型店も配置。  
店舗数：4区画  
区画規模：約30～40坪、約300坪

※ 上記の計画内容は、今後の検討により変更となる場合があります。

## テーマ：「水と緑のサードプレイス」 ～人が集いつながり 文化を育む場～

この「活用方針」は、北十間川水辺活用協議会 賑わい創出部会と連携したワークショップで、地元住民、北十間川周辺に関わる区内団体・個人、民間企業等、様々な立場の人々による公共空間の活用についての活発な議論をもとに作成したものである。

自宅（ファーストプレイス）・職場（セカンドプレイス）とは異なる、心地よい「第三の居場所」を意味する「サードプレイス」という言葉を用い、地域への愛着を他者と共有できる居心地のよい場所を目指す方針とした。

「水と緑のサードプレイス」に人々が集い、会話が生まれ、つながり、心地よい日常風景が生まれる。

この公共空間を核とした、その日常風景がさらなる人々の往来を呼び、賑わいを生み、新たな文化・価値を育み、それがやがて「すみだらしさ」となる。その文化・価値は、東京スカイツリーと浅草という日本随一の観光地をつなぐ東西方向、そして向島地区や両国・本所地区の南北方向にも広がっていく。

### 【6つの方針】

- チャンス** 誰もがそれぞれの過ごし方で心地よくなる「機会」「場」づくり
- 日常風景** 人が集まり、出会い、心地よく過ごす風景自体が**観光資源**になる、穏やかで活気ある**日常風景**づくり
- 共創** それぞれの立場を超え、産官学民が進んで**参画**できる体制づくり
- 伝統歴史** すみだの来歴や積み重ねを活かして、さらなる**魅力**をつくりあげる**活動**づくり
- 連携** ここにしかない、公園、道路、高架下施設、水辺を**一体的に利用**できる**仕組**づくり
- 波及** 公共空間を核とした「まちづくり」の**きっかけ**づくり



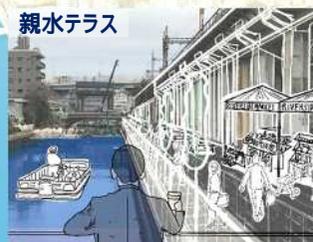
隅田公園

誰もが心地よく過ごせる  
開放的な“緑”の空間



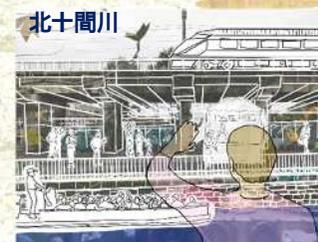
コミュニティ道路

公園・高架下・北十間川が  
一体となる“つながる”空間



親水テラス

誰もがゆったりと過ごせる  
上質な“水”の空間



北十間川

舟運など新たな人の  
つながりを生む“水”の空間

### 【今後の予定】

- 1 この「活用方針」を区内外へ発信する。
- 2 活用方針に基づき**市場サウンディング調査**を行い、具体的な活用方法、管理運営手法について広く**意見を聴取**した上で活用イメージを実現できる手法等を具体化していく。
- 3 活用イメージを実現できる管理運営手法を具体化し、平成33年度運営スタートを目指した**事業者の募集・選定**を行う。